

核兵器のない世界を チリ大統領が訴える



平和祈念像の前で平和への思いを述べました

南米チリのミシェル・バチエレ大統領が、初めて長崎を訪問。長崎原爆資料館や平和公園などに足を運びとともに、被爆遺構である旧城山国民学校校舎も視察し、被爆者や児童らと交流しました。

バチエレ大統領は昨年、核兵器禁止条約に署名。被爆地長崎から、「人類が長崎と広島を記憶をとどめることが必要である」という平和のメッセージを発信しました。

■問い合わせ 国際課(☎829-1113)

コーネル大学教授 長崎平和特派員に認定



平和特派員は、22人・1団体となりました

2月24日、アメリカ・ニューヨーク州在住、コーネル大学の宮崎広和教授を、「長崎平和特派員」に認定しました。

宮崎さんはアメリカで、日米親善交流を通じて、長崎原爆の実相を学生など現地の人々に伝える活動を行っています。

今後も、市は平和特派員の方々と協力して、平和の尊さを世界に発信していきます。

■問い合わせ 平和推進課(☎844-9923)

ありがとうございます！ 「出島」入場500万人！



記念品として出島に関する書籍2冊が贈られました

国指定史跡「出島和蘭商館跡」は、2006年に有料施設としてリニューアルオープン以来、多くの観光客に親しまれてきました。

3月2日、記念すべき500万人目の入場者となったのは、長崎市出身で東京都在住の会社員 深堀徹さん。深堀さんは夫婦で訪れ、「出島表門橋ができた知り訪れた。東京で魅力を伝えていきたい」と話しました。

■問い合わせ 出島復元整備室(☎829-1194)

市役所の組織が変わりました

- 1.「安全安心課」を「自治振興課」に統合
自治会や関係団体などと連携し、安全安心な暮らしやすいまちづくりを推進します。
- 2.「恐竜博物館準備室」を新設
恐竜博物館建設のための準備、展示する標本の収集などを行います。
- 3.「DMO推進室」を新設
長崎市版DMO(観光地域づくり推進法人)の形成・確立を推進します。
- 4.「景観推進室」を新設
歴史や文化、街並みなどを活かした長崎らしい魅力ある景観づくりを推進します。

このほか、職員の資質向上を図るための「職員研修所」を新設するなどの改正を行いました。

■問い合わせ 行政体制整備室(☎829-1124)